

編 集 後 記

日本神経学会第9期編集委員会（中野今治委員長）に引き続き、第10期（鈴木則宏委員長）も編集委員を担当させていただいています。歴史ある本誌が、これからも会員の皆様にとって有益な情報源となるよう精一杯努力したいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先日新しい年になってはじめての編集委員会の会議がありました。平成26年1月20日の時点で、平成25年度の投稿数は133編であり、前年度を8編上回っていました。内訳は症例報告（邦文）74、短報（邦文）30、短報（英文）1、原著（邦文）20、原著（英文）1、総説（邦文）2、Letter to the Editor 2、委員会報告3でした。論文投稿数が増えることは、編集委員として査読に忙しくはなりますが、うれしい限りです。採択率は75%と高く、教育的査読が行われますので、投稿者にとって勉強になることと思います。

若い先生には「症例報告」などに積極的に投稿して頂きたいと思います。個人的な意見ですが、経験的に学んできた論文の書き方を少しでも紹介します。はじめて症例報告を書く場合には、臨床神経学に掲載されている論文をお手

本にしてまねて書いてみてください（何事もものまねから始まる？）。査読者は、最初に「タイトル」を見ますので、「読みたい」と思われるような魅力的なタイトルであると効果的です（もちろん真実と大きく異なるものは困りますが）。「抄録」は、それだけで内容が理解できるように必要十分なものにして下さい。「はじめに」は、読者を論文の中に案内する部分ですので、とても大きなウエイトを占めます。そして「考察」は論理的で科学的に説得力があり、加えて謙虚であるといと思います。論文は、話し言葉で書くのではなく（助詞が抜けている論文に出会うことがあります）、十分に日本語を推敲して作成して下さい。若い先生（若くなくても）が経験した貴重な症例を多くの会員の先生に紹介することは、臨床医としての義務だろうと考えます。そして査読者のコメントを踏まえながら論文を作り上げて行く努力を経験することは、一人前の臨床医へと成長する過程でとても大切なことだと思います。

（瀧山嘉久）

〈編 集 委 員〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
編集委員（幹事兼任） 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

「臨 床 神 経 学」	第54巻 第3号	平成26年3月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル	一般社団法人日本神経学会	
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル	水 澤 英 洋	
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入	中西印刷株式会社	

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>